

ソフィア 11月号

どんぐり

どんぐりが ぽとぽとり

やぶのなか ころころり

のねすみが ちろちろり

おいしいぞ かりこりり

こねすみしゅん (のはらうた くどうなおこ著)

「東大王」というテレビのクイズ番組が人気です。

『天蚕糸』(てぐす)・・・なんと読む？

『世界遺産の名称を言いなさい』などなど・・・ 難問を圧倒的な知識量と洞察力で意図も簡単に答えてしまう現役東大生、大学院生たち。

将来は、臨床医か研究者、企業弁護士、起業家、・・・目標をしっかりと定めながら、進んでいる。その中の1人、井沢拓司さんに、ある新聞が焦点をあてていた。どんな質問にも穏やかに笑顔で誰にでもわかる平易な言葉で返答する井沢さんは、共働き家庭の一人っ子。毎日一番遅くまで保育園に残っていたという。保育園を最後に出て、帰り道でのお父さんと一緒にする買い物が楽しみだった。と書かれてあった。お父さんもお母さんも読書が好きで休日はブックオフでの立ち読み、自宅の本棚にはさりげなく本が並べてありいつも手に取れたとも。「楽しく遊んでいるような感覚で勉強してきたから今の僕がある。次は僕がそんなふうに学びを伝えていけたらって思います」と話す井沢さんを含む若い人たちに頼もしさを感じます。子どもたちが、遊んでいる時間は、何にも変えがたい宝の時間です。

例えば、散歩で拾ってきたどんぐりを大事そうにもち、語り始める子どもの、そのとき、そのときを大事にしていきたいなと思います。まわりの大人がたくさんのお金があってもたくさんの知識があっても、子どものそのときの心の動きを知ろうとする、子ども理解の気持ちが大人になれば子どもは子どもの一日がなんとむなしいものとなるかと思います。

何で泣くの？なんで怒るの？子どもの気持ちはどんなだろう？目の前にいる子どもの心の声を聴く、聴こうとする、大人でありたいと思います。

自ら育つものを育てようとする心、

それが育ての心である。 倉橋惣三

子どもとともに大人の人格も高まり育てられるのだといつも思います。

ソフィア東生駒こども園

園長 中畑 直実